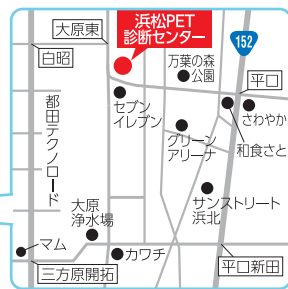
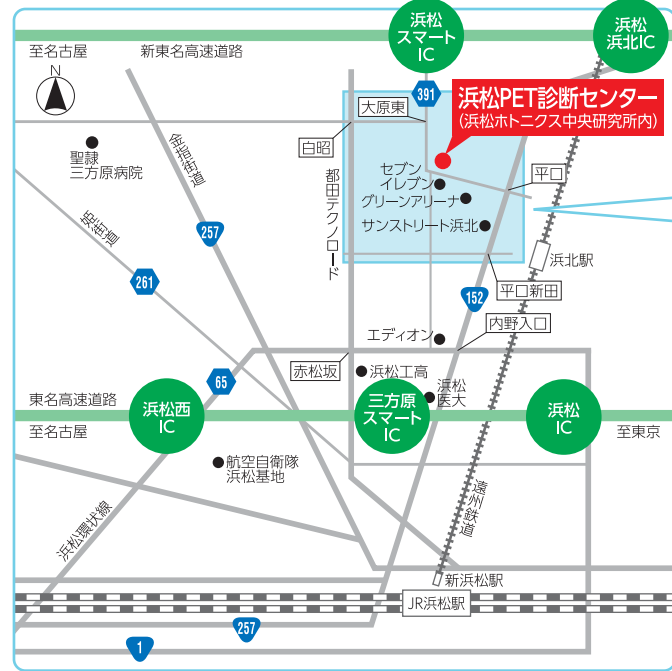
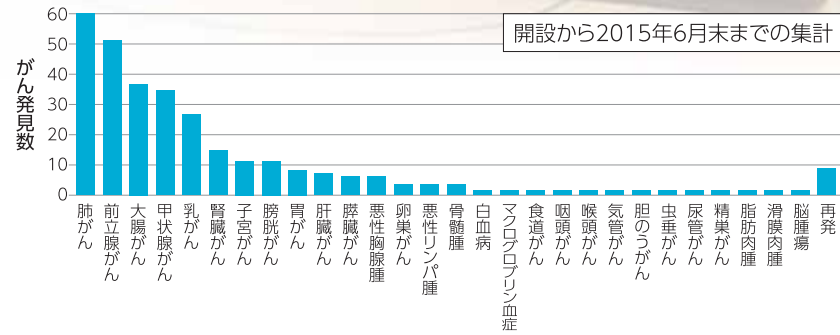


がんで死なない、 認知症で苦しまない 健康長寿社会の実現を目指して

浜松PET診断センターは、PET-CTなどの画像診断を中心とした検診と
浜松ホトニクス技術力を両輪に、がんや認知症で苦しまない
健康長寿社会の実現を目指しています。

浜松PET診断センターは2003年の開設以来、
10,000人を超える方に延べ30,000件以上のPET
がん検診を実施しています(2018年12月末日時点)。
当センターのPETがん検診/総合コースでは、PET
検査にX線CT検査やMRI検査、超音波検査など
の画像診断を中心にリスク検査や血液検査などを
組み合わせており、発見がんには多種多様ながん
が含まれていることから、多くの臓器のがんを精度
よく検出することが可能と考えられます。



浜松PET診断センター 外観

- お車でお越しの場合**
- 東名浜松西インターチェンジより車で約20分 (9.4km)
 - 東名浜松インターチェンジより車で約30分 (12.0km)
 - 東名三方原スマートインターチェンジより車で約15分 (6.1km)
 - 新東名浜松浜北インターチェンジより車で約20分 (8.0km)
 - 新東名浜松スマートインターチェンジより車で約11分 (6.0km)
- 電車でお越しの場合**
- JR浜松駅よりタクシーで約40分
 - 遠州鉄道浜北駅よりタクシーで約10分
(遠州鉄道浜北駅への送迎サービスあり)

お問合せ・お申込み・仮予約はこちらから

【受付窓口】 浜松ホトニクス株式会社健康情報室

【受付時間】 月曜～金曜午前8時30分～午後5時30分 (一部祝日除く)

※浜松PET診断センターの窓口業務は、浜松ホトニクス株式会社に委託しています。

お電話 ☎0120-584-722

ウェブサイト www.hmp.or.jp

スマートフォン・タブレットの
2次元コード読み取り機能を使
ってアクセスできます▶



Whole body cancer screening
with multimodality including PET examination

PETがん検診

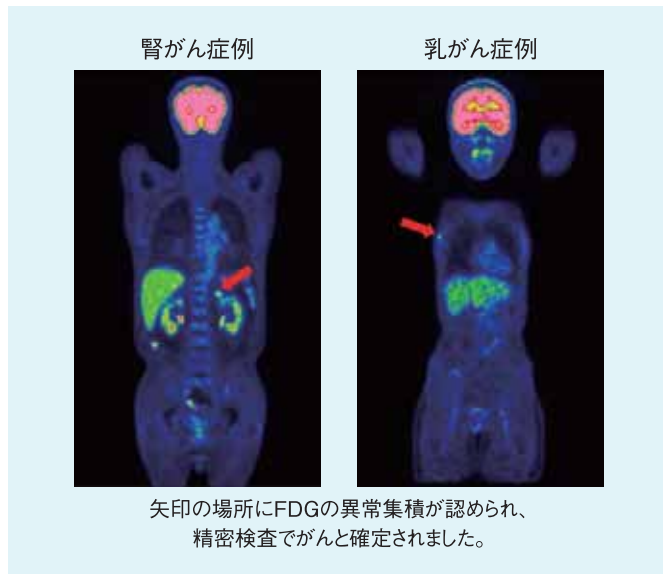
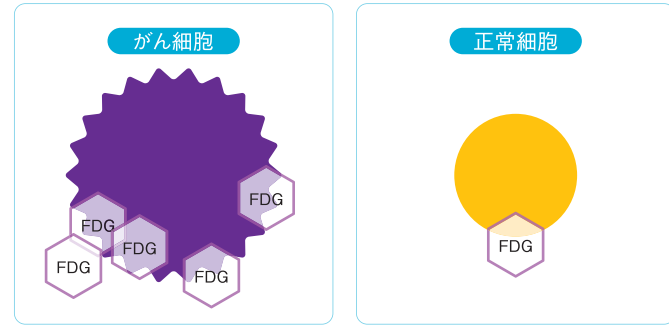
「光の眼」で診る
脳と体のスクリーニング



治る時代
だからこそ
がんは早期に
発見したい

PET検査とは

PET検査は、ブドウ糖によく似た糖（FDG）を体内に投与し、細胞の活動の様子から異常を発見する検査方法です。がん細胞は正常細胞に比べブドウ糖を多く取り込む性質があることから、その集まり具合をPET装置で画像化することで、がんの有無や位置、広がり調べます。



PET検査の特徴

- ① 一度に広い範囲を検査します 頭部から骨盤部までを一度に撮影し、がんの疑いを調べます。
- ② がんの早期発見に役立ちます X線CTやMRI検査情報と合わせることで、多くの臓器の早期がんの診断に有効です。
- ③ 身体に負担の少ない検査です 痛みは注射時のみです。検査衣のまま撮影します。

PETがん検診の有効性 -PET研究検診での検証-

浜松PET診断センターでは、検診受診後の経過を追跡調査し、検診の精度を調査しています。浜松ホトニクスを社員を対象とした「PET研究検診」では、PETがん検診/総合コースと同様の検診を『受診している群』と『受診していない群』に分け、がん発生数・死亡数・医療費・入院日数・通院日数などを集計した結果、死亡数や医療費などで大きな差が出ています。

PET研究検診の結果(概要)

受診者群	がん発生数	医療費	通院日数	入院日数	死亡数
受診者群 3,797名	46名 発生割合1.2%	260万円	28.4日	21.1日	1名
非受診者群 3,495名	35名 発生割合1.0%	465万円	36.5日	41.4日	8名

1人あたりの平均

※2009年11月～2017年10月までの集計

ご注意ください

- すべてのがんや疾患が発見されるわけではありません。
- 良性疾患や正常でも陽性となる可能性があります。
- PET、X線CT、DXA検査では微量の放射線被ばくを伴いますが、健康に影響を与えることはありません。
- 次の場合はご受診いただけません。
 - ・ 妊娠中や妊娠の可能性がある。
 - ・ がん・脳疾患・認知症と診断されたり、その疑いにてすでに医療機関を受診されている。
 - ・ 機器撮影中(30分)閉所ですと動かしづらい。
 - ・ ご本人様からご受診の同意が得られない。
- 体内に電子機器や金属のある方、空腹時血糖値が高い方、40歳未満の方、治療中の病気やお身体の状態等によってはご受診いただけない場合があります。



PETがん検診/総合コース

● 料金: 150,000円(税込) ● 所要時間: 約4時間

PETがん検診/総合コースは、PET検査に複数の画像診断やリスク検査、血液検査など、がんの早期発見や予防に有効であると考えられる検査を組み合わせた総合がん検診です。

検査項目
身長・体重・血圧
FDG-PET(頭部から骨盤部)
X線CT(胸部・腹部)
MRI(頭部・骨盤部)
超音波(腹部・乳房[女性のみ])
PSA[男性のみ]
便潜血(2日法)
ヘプシノーゲン・ピロリ菌抗体(胃がんリスク検査)
HBs抗原・HCV抗体(肝がんリスク検査)
甲状腺機能検査
一般血液検査
尿潜血・尿蛋白・尿糖
腹囲・内臓脂肪面積計測(X線CT使用)



MRI 磁気と電磁波を利用し、身体の断面を撮影します。脳および子宮がん・卵巣がん・膀胱がん・前立腺がんなど、膀胱近辺の診断に重要です。

超音波 超音波を体外から発射し、その反射波を画像にすることで、体内のかたちを調べます。腹部(肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓)を調べます。

- 体内に金属があるなどMRI検査ができない場合は、超音波検査にて骨盤部を、X線CT検査にて頭部を調べます。
- 検査画像CD-ROM無償提供。

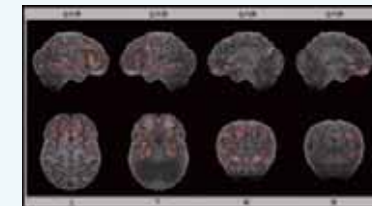
脳オプション

● 追加料金: 70,000円(税込) ● 追加所要時間: 約30分

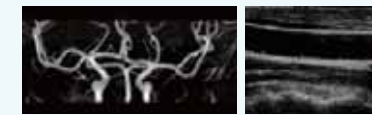
PETがん検診/総合コースに追加いただける、脳PET機能解析、脳MRA、頸部血管超音波検査等による脳ドックオプションです。

がんに加え、脳梗塞、頸部・脳血管障害、認知症の発見に努めます。

- 単独での受診は出来ません。



脳PET(脳機能画像解析)画像



脳MRA画像

頸部血管超音波画像

検査項目	検査内容
脳PET検査(脳機能画像解析)	脳のブドウ糖代謝を解析し、アルツハイマー型認知症に特有な部位での代謝が低下していないかを調べます。
MRA検査(頭部・頸部)	磁気と電磁波を利用して血液の信号を集め、画像処理によって血管の画像を作成します。脳血管の閉塞・狭窄や動脈瘤を検出します。
超音波検査(頸部)	超音波を体外から照射し、その反射波を利用して画像にします。頸部血管の動脈硬化性変化や閉塞・狭窄を調べる検査です。
簡易認知機能検査(MMSE・FAB)	認知機能や記憶力を測定します。

抗加齢オプション

● 追加料金: 30,000円(税込) ● 追加所要時間: 約30分

PETがん検診/総合コースに追加いただける、加齢に伴って増加するリスクを早期に把握することを目的としたオプションです。

日本人死亡原因の上位である狭心症や心筋梗塞などの心疾患、くも膜下出血や脳梗塞などの脳卒中のリスクを調べます。また、骨密度や体組成を測定し、骨や筋肉といった運動器の検査をおこないます。

- 単独での受診は出来ません。

検査項目	検査内容
超音波検査(頸部)	超音波を体外から照射し、その反射波を利用して画像にします。頸部血管の動脈硬化性変化や閉塞・狭窄を調べる検査です。
DXA検査(骨密度・体組成)	X線で全身を撮影して、骨と脂肪とそれ以外の部位を区別します。全身の体組成と腰椎・大腿骨の骨密度を調べます。
血圧・脈波検査	ABI(足関節上腕血圧比)とPWV(脈波伝播速度)を計測し、血管の狭窄や閉塞ならびに動脈硬化の進行度を調べます。
LOX-index検査	脳梗塞・心筋梗塞発症リスクを評価する指標です。リスク因子である血中のsLOX-1とLABを解析します。
追加血液検査	アディポネクチン、SD-LDLを測定し、血管疾患のリスクを調べます。
追加尿検査	尿中アルブミンを測定することで、血管の炎症を把握し、動脈硬化のリスクを調べます。